

日本社会医療法人協議会 ニュース

略称 **日社協ニュース**

第**28**号

令和4年4月1日 発行

発行所：一般社団法人日本社会医療法人協議会 発行人：西澤寛俊
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-6-12 TEL/FAX:03-6261-0138 URL: <https://nishakyo.or.jp/> E-mail: info@nishakyo.or.jp
制作：株式会社日本医療企画 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 TEL:03-3553-2864

社会医療法人トップ・ミドルマネジメント研修

社会医療法人制度の成り立ちや期待される役割について学ぶ

日本社会医療法人協議会は2月21日、社会医療法人トップ・ミドルマネジメント研修をハイブリッド形式で開催した。冒頭、挨拶に立った西澤寛俊会長はコロナ禍において社会医療法人には、地域医療における中心的な役割を果たすことが期待されたと指摘。さらに、社会医療法人制度の創設から15年が経過したことに触れ、「今後、社会医療法人が地域で役割を果たし続けるためにも、世代交代が重要となる。これからを担う方たちに社会医療法人の成り立ちや制度を改めて学ぶ機会としていただきたい」と研修の目的を話した。

新型コロナの影響を踏まえた今後の医療提供体制を解説

最初に、厚生労働省医政局医療経営支援課医療法人支援室室長の山本修一氏が、「社会医療法人の現状と課題」をテーマに講演した。

山本氏は、社会医療法人は、地域医療の基盤として、地域住民の健康を支える重要な役割を果たしている。しかし、コロナ禍の影響を受け、経営環境が厳しくなっている。特に、診療報酬の削減や、人材不足などが課題となっている。また、高齢化が進む中で、地域医療の重要性はますます高まっている。社会医療法人は、これらの課題を克服し、地域医療の発展に貢献していく必要がある。具体的には、経営効率の向上、人材育成、地域連携の強化などが求められる。山本氏は、社会医療法人の今後の発展を期待し、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。

山本氏は、社会医療法人の現状と課題について詳しく説明した。まず、社会医療法人の定義や種類について説明し、その特徴や役割を述べた。次に、コロナ禍の影響について説明し、経営環境の厳格化や人材不足などの課題を挙げた。また、高齢化が進む中で、地域医療の重要性が高まっていることを指摘し、社会医療法人が果たすべき役割について述べた。最後に、今後の展望について述べ、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。

山本氏は、社会医療法人の今後の発展を期待し、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。具体的には、経営効率の向上、人材育成、地域連携の強化などが求められる。山本氏は、社会医療法人の今後の発展を期待し、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。

山本氏は、社会医療法人の現状と課題について詳しく説明した。まず、社会医療法人の定義や種類について説明し、その特徴や役割を述べた。次に、コロナ禍の影響について説明し、経営環境の厳格化や人材不足などの課題を挙げた。また、高齢化が進む中で、地域医療の重要性が高まっていることを指摘し、社会医療法人が果たすべき役割について述べた。最後に、今後の展望について述べ、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。

山本氏は、社会医療法人の今後の発展を期待し、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。具体的には、経営効率の向上、人材育成、地域連携の強化などが求められる。山本氏は、社会医療法人の今後の発展を期待し、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。

山本氏は、社会医療法人の現状と課題について詳しく説明した。まず、社会医療法人の定義や種類について説明し、その特徴や役割を述べた。次に、コロナ禍の影響について説明し、経営環境の厳格化や人材不足などの課題を挙げた。また、高齢化が進む中で、地域医療の重要性が高まっていることを指摘し、社会医療法人が果たすべき役割について述べた。最後に、今後の展望について述べ、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。

山本氏は、社会医療法人の今後の発展を期待し、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。具体的には、経営効率の向上、人材育成、地域連携の強化などが求められる。山本氏は、社会医療法人の今後の発展を期待し、協議会を通じて課題を共有し、解決策を模索していくことを呼びかけた。